

2024/04/16

山梨県立大学看護実践開発研究センター

令和6年度 認定看護師教育課程【感染管理分野B課程】開校式

式 辞

新入生の皆さん、山梨県立大学の「感染管理 認定看護師教育課程【B課程】へのご入学、誠におめでとうございます。本日、ここに高い志を抱く皆さんをお迎えできましたことを、教職員一同、心より歓迎し、お祝い申し上げます。併せてこの4年余りにわたる新型コロナウイルスパンデミックの中、医療看護現場の最前線にたち、日夜ご尽力をされてきたことに対し、心から敬意を表する次第です。

また、ご家族・ご親族の皆様、そして職場の皆様など関係の方々にも心よりお慶びを申し上げます。

ご来賓の皆様におかれましては、これまでの本学認定看護師教育課程へのご理解とご支援に対して深く敬意を表するところであります。本日は、公務ご多用の中、山梨県知事代理 おおくぼ まさなお 大久保 誠直 副知事のご来駕を賜り、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。また、山梨県行政の関係部署、山梨県看護協会、本学看護学部同窓会の各代表の皆様、さらに受講生の所属施設の上司関係者のご臨席をいただき、心よりお礼申し上げます。次第です。

山梨県立大学看護実践開発研究センターは、地域の保健・医療・福祉分野における看護実践の質的向上を目的とした専門職の育成を理念に掲げ、平成22年に開設されました。

認定看護師教育課程は、当センターの主軸となる事業であり、既に閉講した「緩和ケア教育課程」では9期生を、また現在開講を継続している「認知症看護教育課程」では10期生をそれぞれ修了させ、これまで総計400名以上の認定看護師を輩出しているところであります。

加えて、昨年開設した「特定行為を組み入れた感染管理認定看護師教育課程」は2年目を迎えることができました。開設と運営にあたりましては、山梨県より助成金制度の設置や施設設備改修など多大なご支援をいただき、専任教員の確保や特定行為研修の受け入れといった面においては、各医療機関にも快くご協力をいただくことができました。また山梨県看護協会や看護学部同窓会からも情報提供など多くのご支援をいただきました。この場をお借りして関係各機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、地球温暖化と環境破壊が進み、人と野生動物との接触機会が日々増加していく現代においては、SARs-Cov2など新興ウイルスによるパンデミックの勃発頻度は、より高まっていくであろうことが危惧されています。一方で、病原性細菌による感染症、中でもMRSAやフルオロキノロン耐性大腸菌に代表される多剤耐性細菌の蔓延も大きな問題であり、このままの状況が続けば、病原性ウイルス以上の被害も予測されるところであります。

こういった中、感染症の予防対策や継続的な管理、また再発予防における発生状況のサーベイランスなどについて高度な知識と技術を持って対応できる専門人材の必要性は、ますます高まっているといえます。さらに地震や洪水といった自然災害が頻発している昨今では、避難現場において医師をサポートするとともにチーム医療のキーパーソンとして、迅速に、適切で安全な看護医療を提供できる能力も必要となってくるでしょう。

新入生の皆さんは、看護師として医療現場における高いスキルをお持ちです。さらにその専門性を高め、医療看護を「極め、新たな価値を創造する」ことを目指し、この場に臨んでおられます。

職場のリーダーとして、大きな期待と責任を背負い、職業を持ちながら学ぶ過程は、困難も多いと思います。しかし、この教育課程での学びは、皆さんの未来に繋がる大切な基盤となるはずで、皆さんには、かならずや専門を極め、組織のみならず地域における感染対策・感染管理のリーダーとなっていただきたいと思います。

約1年間に及ぶ密度の濃い学習過程が今日から始まります。大学としてはできる限り皆さんの創造的な学びを支援する所存です。

結びになりますが、本教育課程での学びにより、皆さんの高い志が成就されることを、心からご祈念申し上げ、私の式辞と致します。本日は誠におめでとうございます。

令和6年4月16日

山梨県立大学理事長・学長 早川正幸